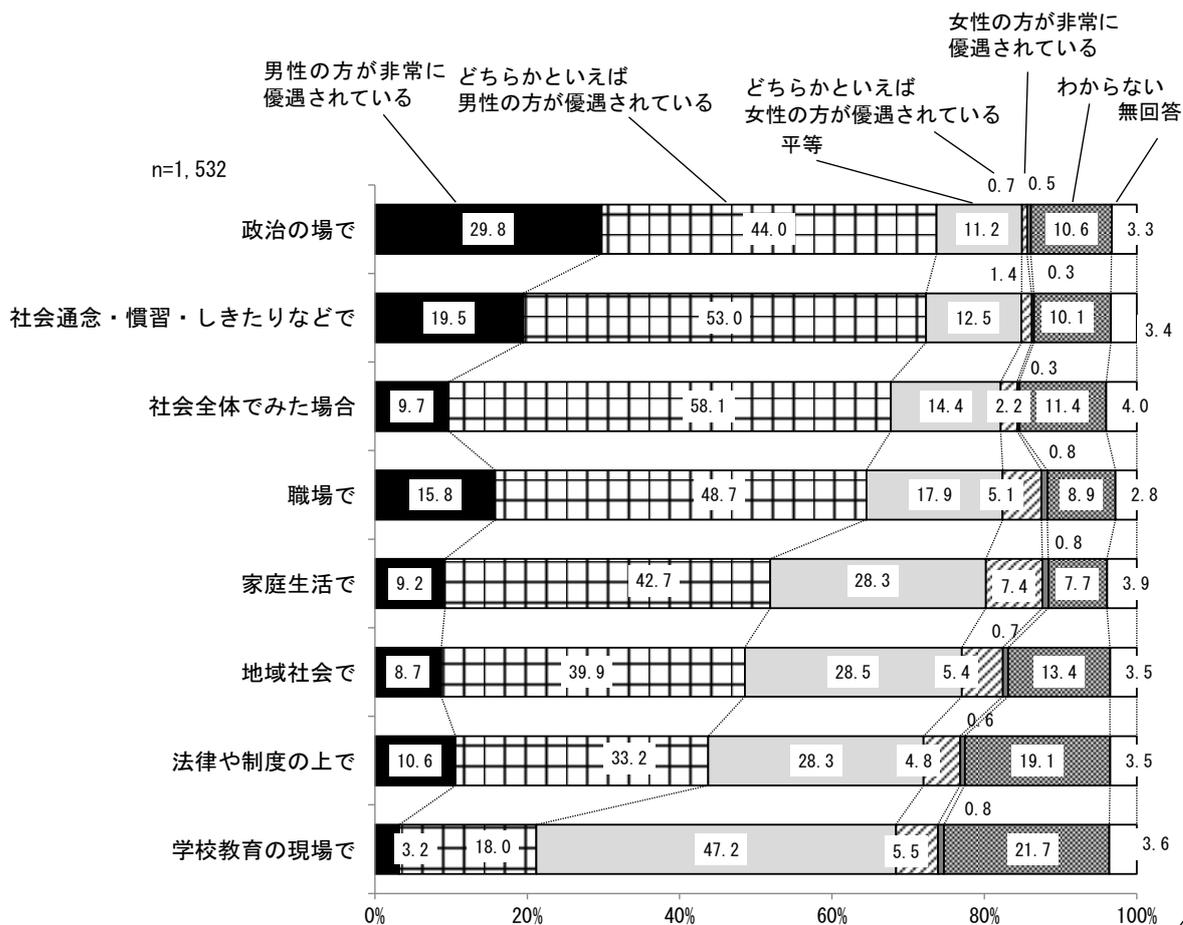


2 男女の地位の平等などについて

(1) 各分野・社会全体における男女の地位の平等意識

問5 あなたは次にあげる分野で男女の地位は平等になっているとお考えですか。それぞれについてお答えください。【○印はそれぞれ1つ】

【図表 5-1 各分野・社会全体における男女の地位の平等意識】



◆「学校教育の現場で」以外では『男性が優遇』されていると強く感じられている

各分野・社会全体における男女の地位の平等意識について、『男性が優遇』（「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせた割合）は「社会全体で見た場合」、「職場で」、「家庭生活で」で5割を超えている。一方、「学校教育の現場で」は「平等」が高くなっている。

また、「政治の場で」「社会通念・慣習・しきたりなどで」は『男性が優遇』が7割となっている。

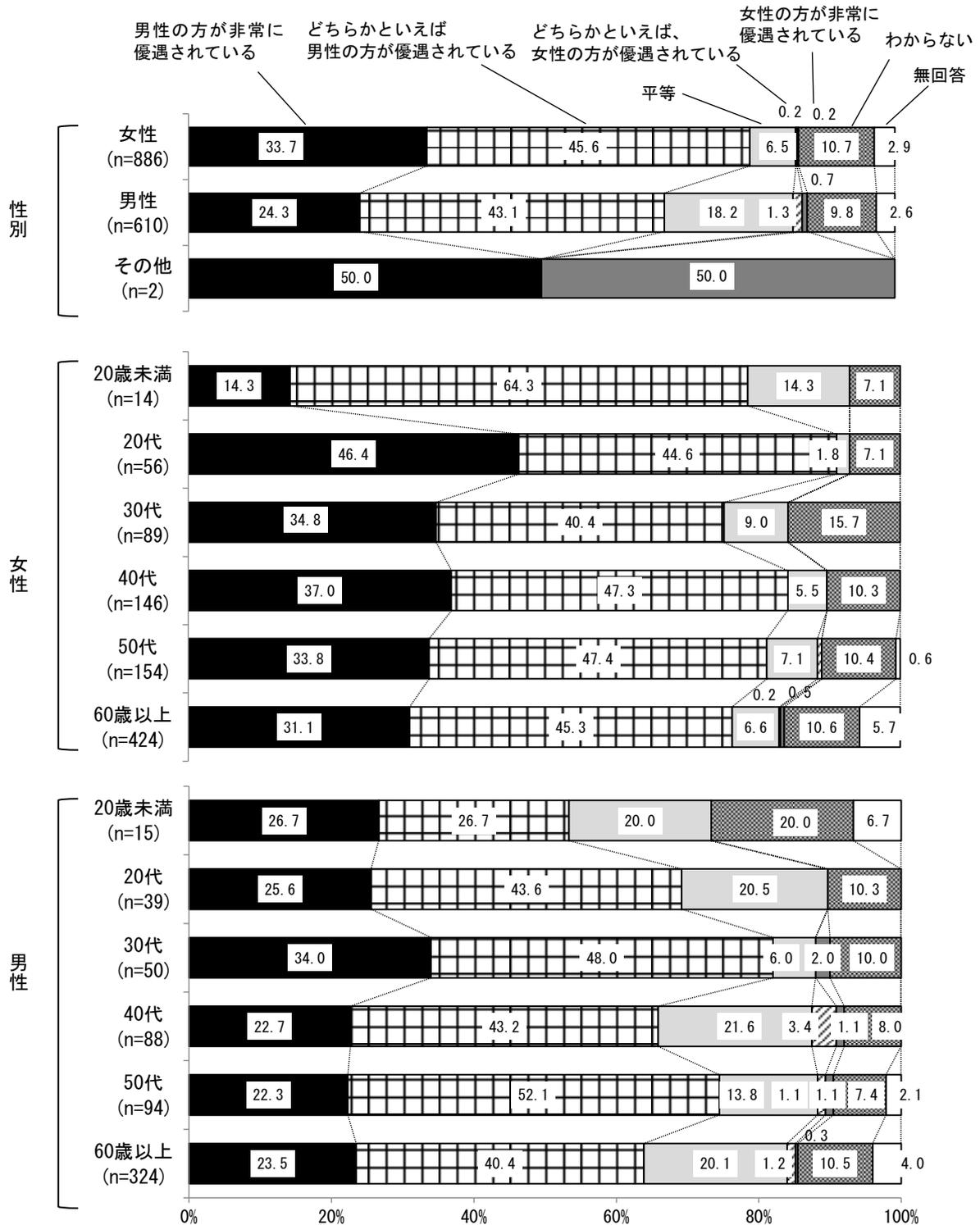
ア「政治の場で」

<性別、性・年齢別>

性別にみると、「平等」は男性（18.2%）が女性（6.5%）を11.7ポイント上回っている。

性・年齢別にみると、女性は『男性が優遇』が20代（46.4%）で最も高くなり、男性は、『男性が優遇』が30代（34.0%）で最も高くなっている。

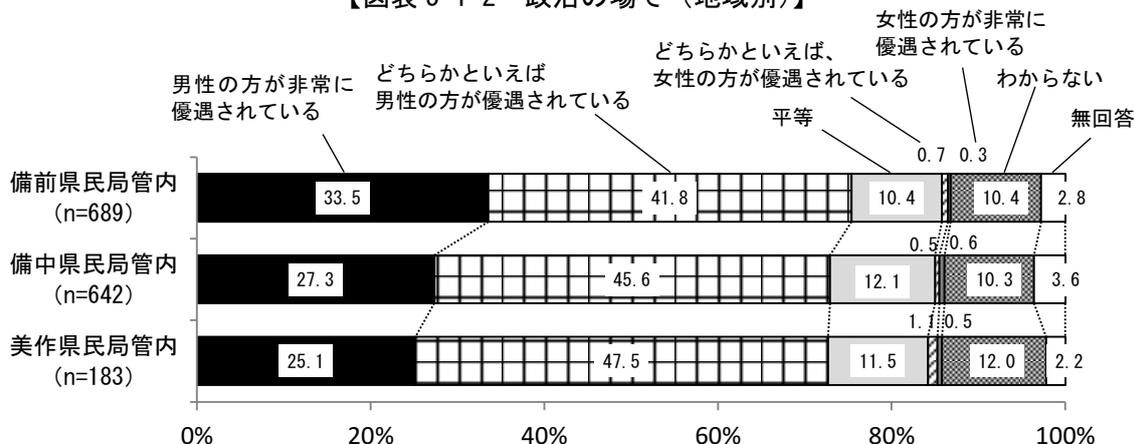
【図表 5-1-1 政治の場で（性別、性・年齢別）】



<地域別>

すべての地域で、『男性が優遇』は7割を超えており、大きな差はみられない。

【図表 5-1-2 政治の場で（地域別）】



<過去の調査との比較>

過去の調査と比較すると、『男性が優遇』、『女性が優遇』、「平等」の割合はほぼ横ばいで、大きな変化はみられない。

【図表 5-1-3 政治の場で（過去の調査との比較）】

(単位: %)

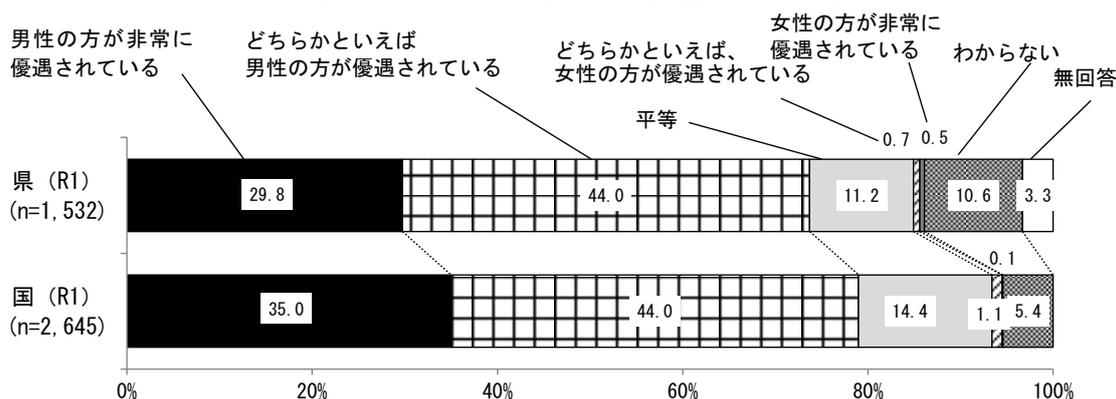
	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等	わからない	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	男性の方が優遇されている計	女性の方が優遇されている計
H12	30.8	41.3	14.8	7.9	1.2	0.1	72.1	1.3
H16	32.1	42.8	10.9	10.0	1.0	0.1	74.9	1.1
H21	19.5	41.5	17.2	11.0	1.5	0.5	61.0	2.1
H26	30.4	42.1	12.2	10.5	1.6	0.3	72.5	1.9
R1	29.8	44.0	11.2	10.6	0.7	0.5	73.8	1.2

※図表 5-1-3 は過去の調査と同様に、男性の方が優遇されている計、女性の方が優遇されている計は「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」、「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」の件数の合計を回答者の総数で割って集計している。そのため、「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」、「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」の割合の合計と一致しない場合がある。

<国調査との比較>

国調査と比べると、「平等」は県調査（11.2%）が国調査（14.4%）を3.2ポイント下回っている。

【図表 5-1-4 政治の場で（国調査との比較）】



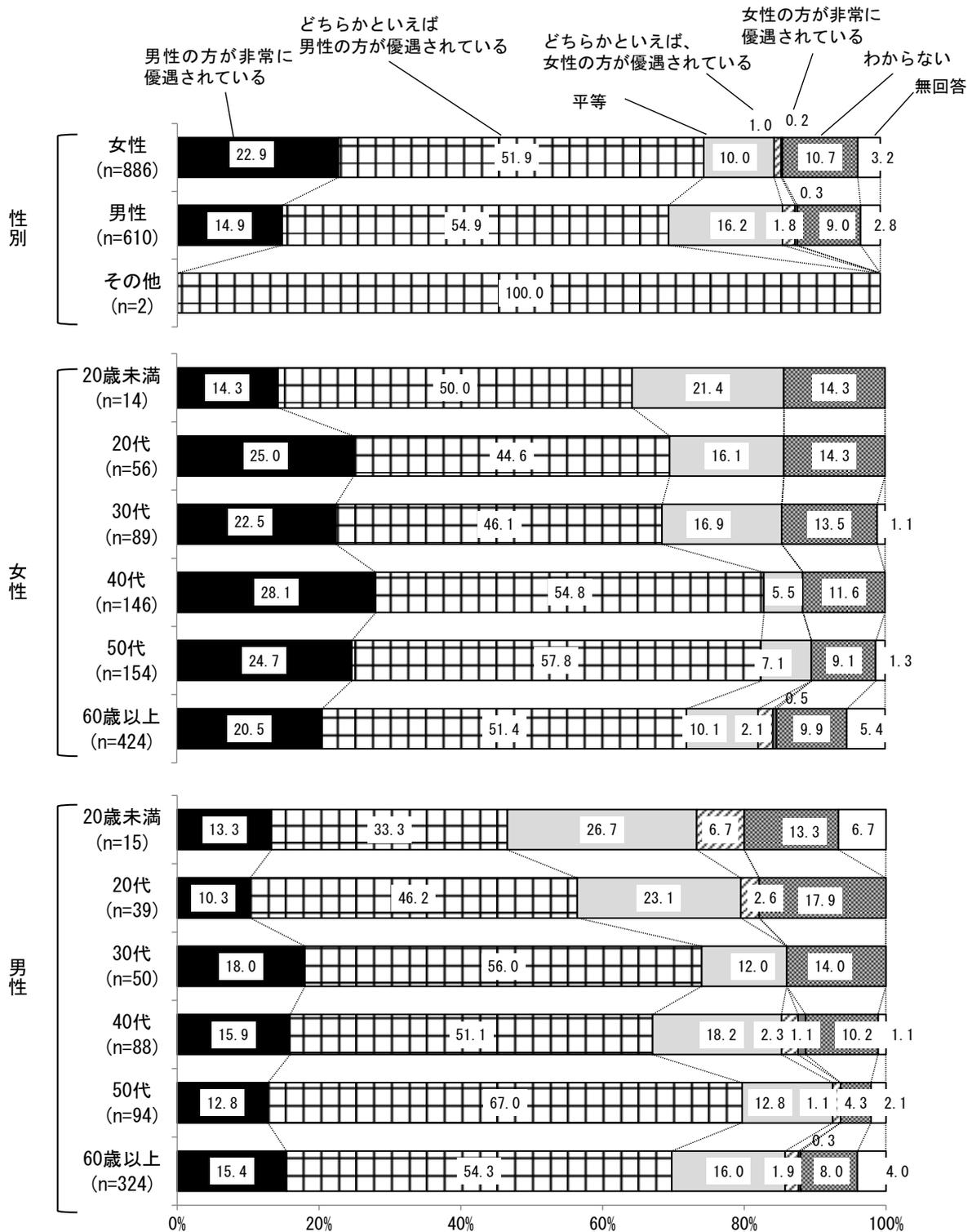
イ「社会通念・慣習・しきたりなどで」

<性別、性・年齢別>

性別にみると、「平等」は男性（16.2%）が女性（10.0%）を6.2ポイント上回っている。

性・年齢別にみると、女性は40代（82.9%）、男性は、50代（79.8%）で『男性が優遇』の割合が最も高くなっている。

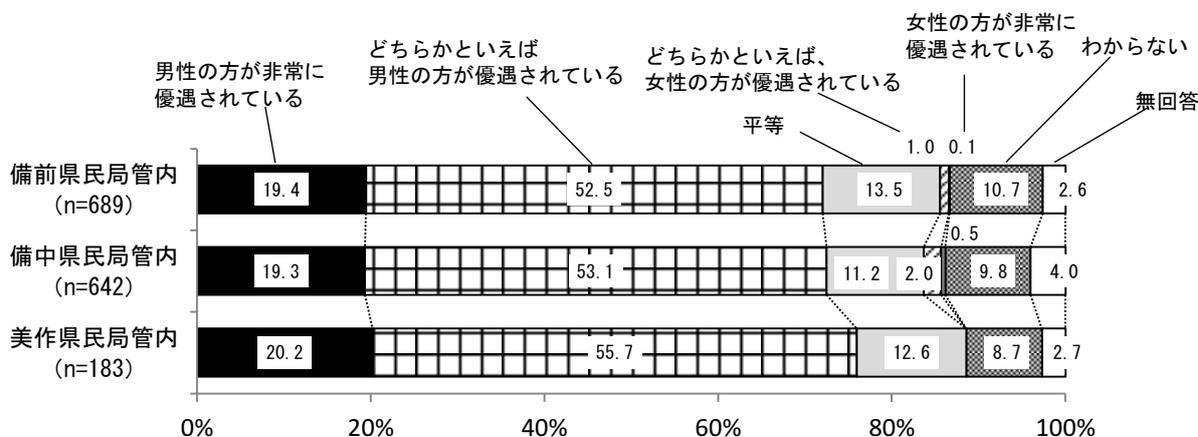
【図表 5-2-1 社会通念・慣習・しきたりなどで（性別、性・年齢別）】



<地域別>

すべての地域で、『男性が優遇』は7割を超えており、大きな差はみられない。

【図表 5-2-2 社会通念・慣習・しきたりなどで（地域別）】



<過去の調査との比較>

過去の調査と比較すると、『男性が優遇』と『女性が優遇』の割合はほぼ横ばいで、大きな変化はみられない。

【図表 5-2-3 社会通念・慣習・しきたりなどで（過去の調査との比較）】

(単位: %)

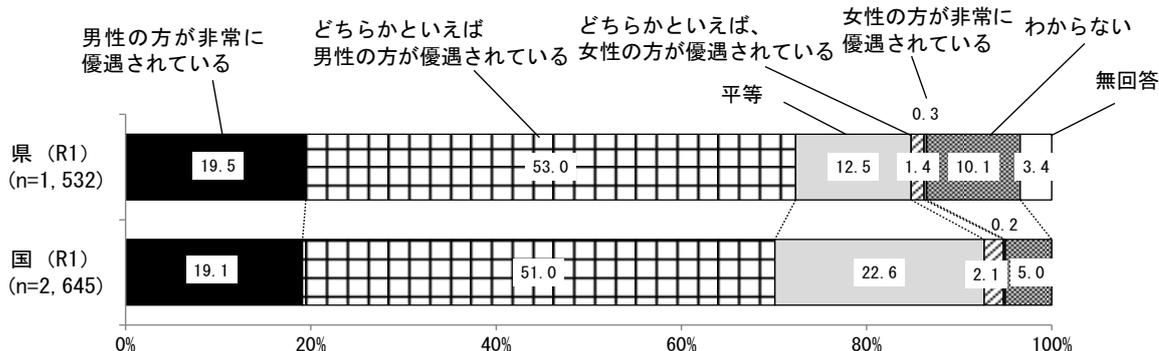
	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等	わからない	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	男性の方が優遇されている計	女性の方が優遇されている計
H12	26.9	50.1	8.8	9.5	1.5	0.4	77.0	1.9
H16	24.7	53.0	7.6	9.0	2.0	0.3	77.7	2.3
H21	15.4	50.7	11.0	10.1	2.2	0.7	66.2	2.9
H26	18.6	54.7	10.4	9.7	2.2	0.1	73.3	2.3
R1	19.5	53.0	12.5	10.1	1.4	0.3	72.5	1.7

※図表 5-2-3 は過去の調査と同様に、男性の方が優遇されている計、女性の方が優遇されている計は「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」、「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」の件数の合計を回答者の総数で割って集計している。そのため、「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」、「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」の割合の合計と一致しない場合がある。

<国調査との比較>

国調査と比べると、「平等」は県調査（12.5%）が国調査（22.6%）を10.1ポイント下回っている。

【図表 5-2-4 社会通念・慣習・しきたりなどで（国調査との比較）】

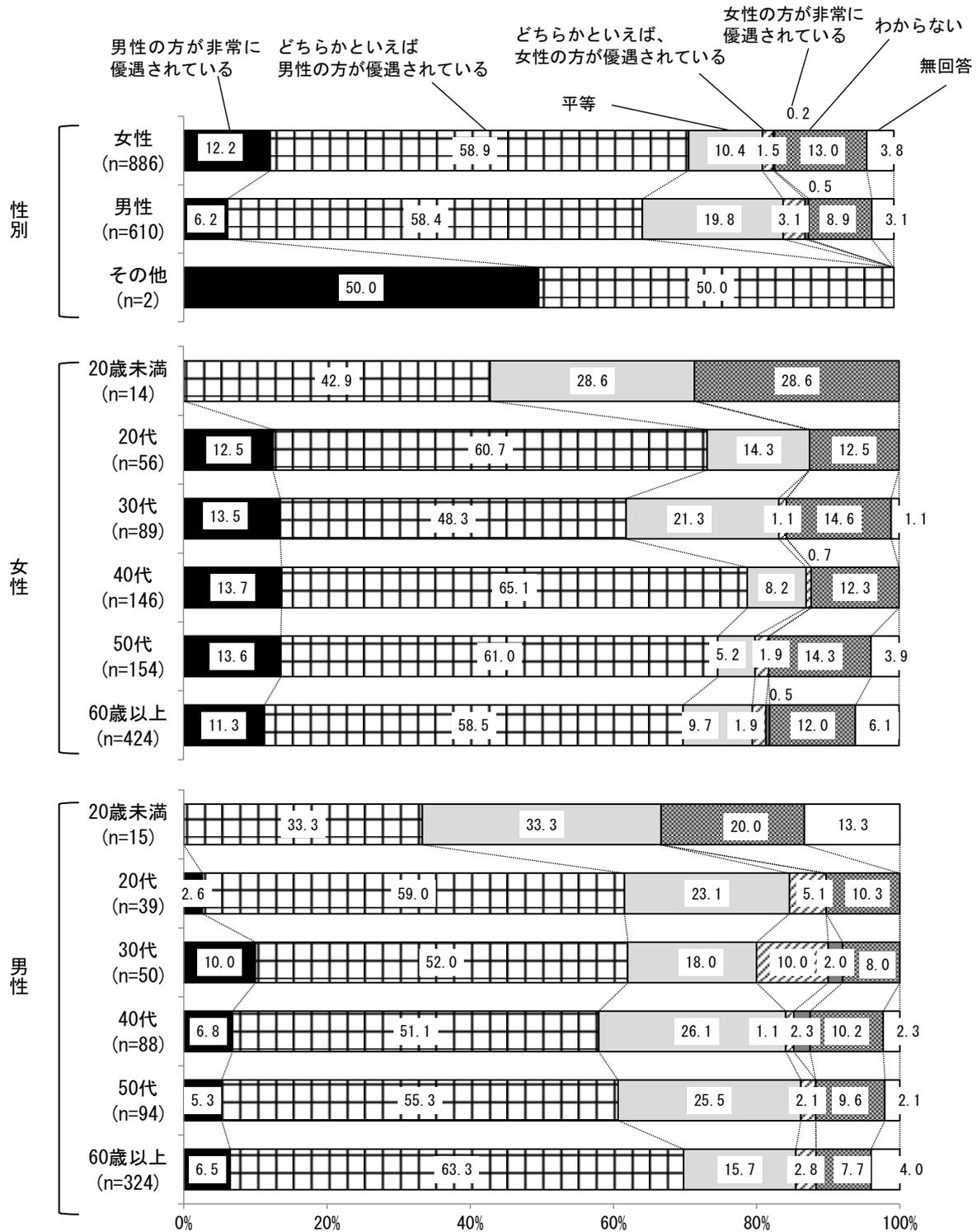


ウ「社会全体でみた場合」

<性別、性・年齢別>

性別にみると「平等」は男性（19.8%）が女性（10.4%）を9.4ポイント上回っている。
 性・年齢別にみると、女性は20歳未満を除いて『男性が優遇』が6割程度となっている。

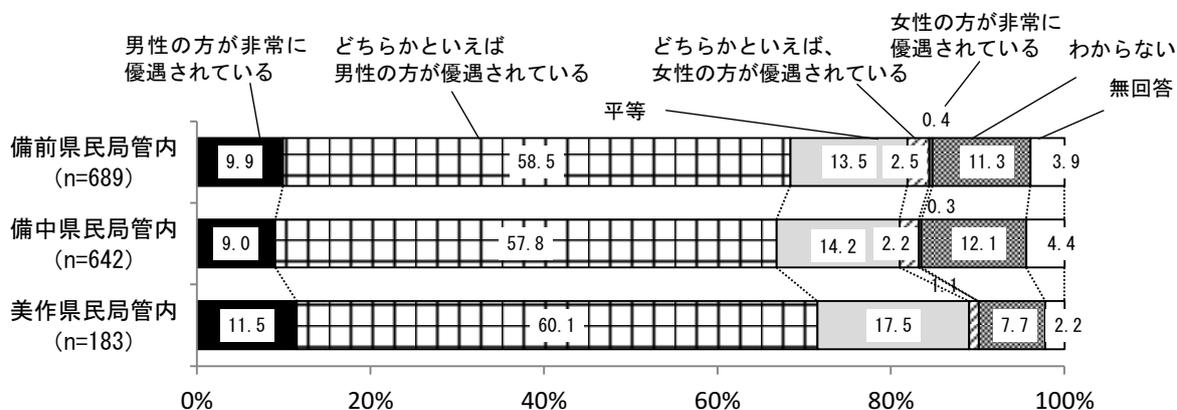
【図表 5-3-1 社会全体でみた場合（性別、性・年齢別）】



<地域別>

すべての地域で、『男性が優遇』は7割程度となっており、「平等」は美作県民局管内（17.5%）で他の地域と比べ、高くなっている。

【図表 5-3-2 社会全体でみた場合（地域別）】



<過去の調査との比較>

過去の調査と比較すると、今回調査は「平等」が最も高くなっている。

【図表 5-3-3 社会全体でみた場合（過去の調査との比較）】

(単位: %)

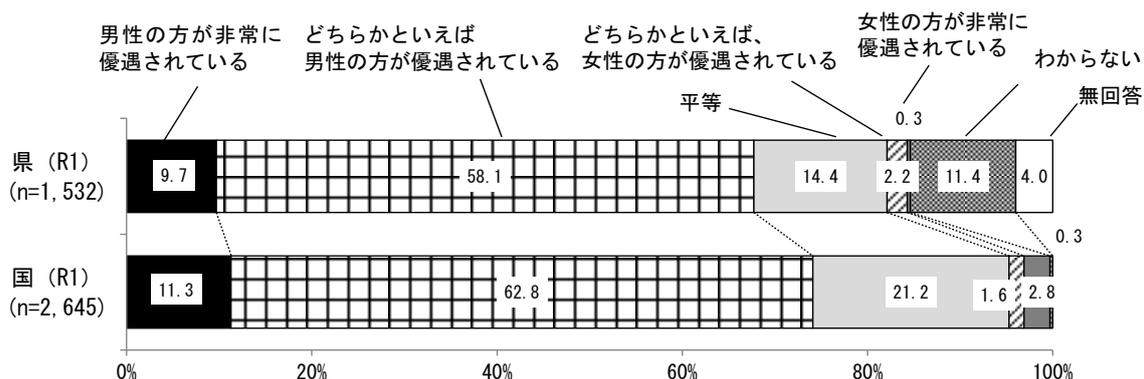
	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等	わからない	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	男性の方が優遇されている計	女性の方が優遇されている計
H16	17.9	62.5	7.3	5.8	3.5	0.3	80.4	3.8
H21	6.8	56.4	11.7	8.7	3.4	0.5	63.2	3.9
H26	9.7	59.5	9.9	8.5	3.1	0.2	69.3	3.3
R1	9.7	58.1	14.4	11.4	2.2	0.3	67.8	2.5

※図表 5-3-3 は過去の調査と同様に、男性の方が優遇されている計、女性の方が優遇されている計は「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」、「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」の件数の合計を回答者の総数で割って集計している。そのため、「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」、「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」の割合の合計と一致しない場合がある。

<国調査との比較>

国調査と比べると、「平等」は県調査（14.4%）が国調査（21.2%）を6.8ポイント下回っている。

【図表 5-3-4 社会全体でみた場合（国調査との比較）】



エ「職場で」

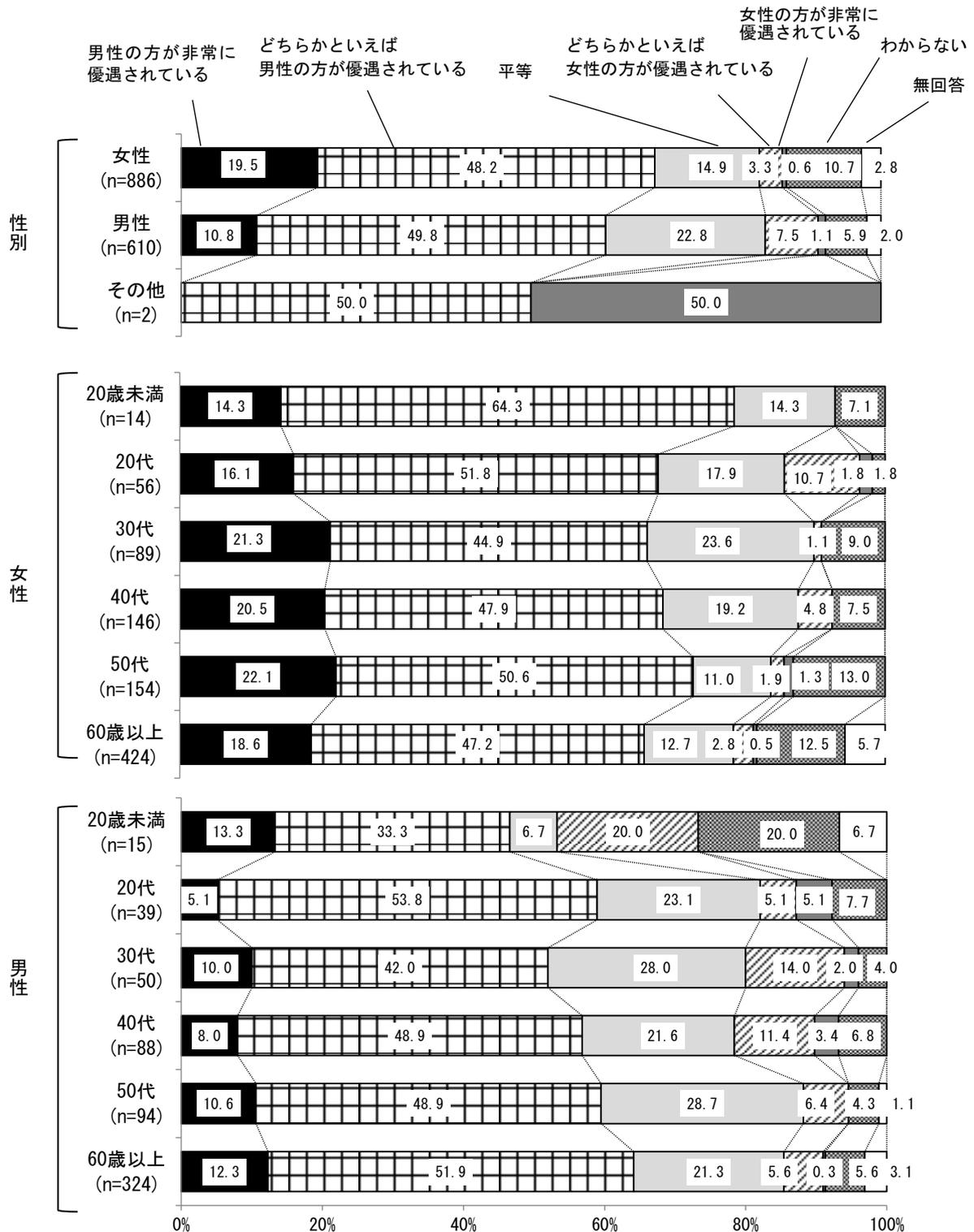
<性別、性・年齢別>

性別にみると、『男性が優遇』は女性（67.7%）が男性（60.6%）を7.1ポイント上回っている。

性・年齢別にみると、女性はすべての年代において『男性が優遇』が7割程度となっている。

男性は20歳未満で「平等」（6.7%）が最も低くなっている。

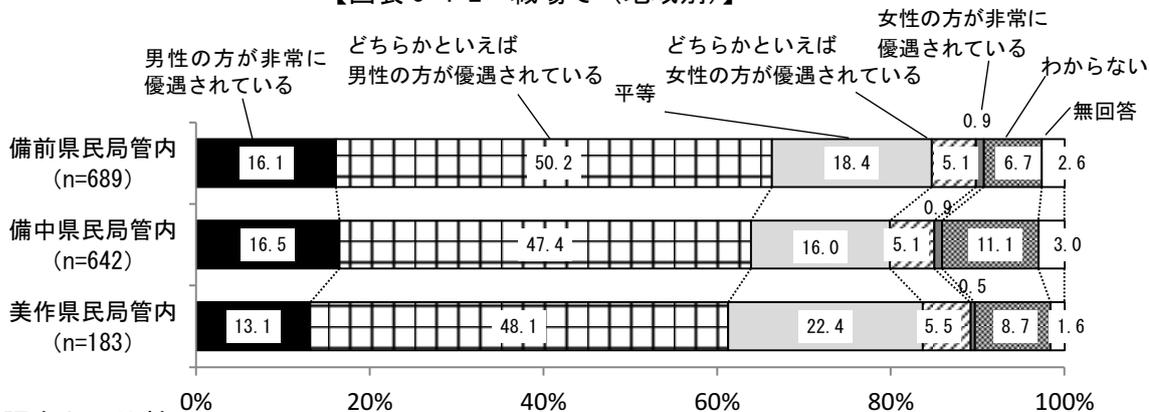
【図表 5-4-1 職場で（性別、性・年齢別）】



<地域別>

すべての地域で、『男性が優遇』は6割を超えており、「平等」は美作県民局管内（22.4%）で他の地域と比べ、高くなっている。

【図表 5-4-2 職場で（地域別）】



<過去の調査との比較>

過去の調査と比較すると、『男性が優遇』は低下傾向にあり、H12年度調査より10.4ポイント低くなっている。

【図表 5-4-3 職場で（過去の調査との比較）】

(単位: %)

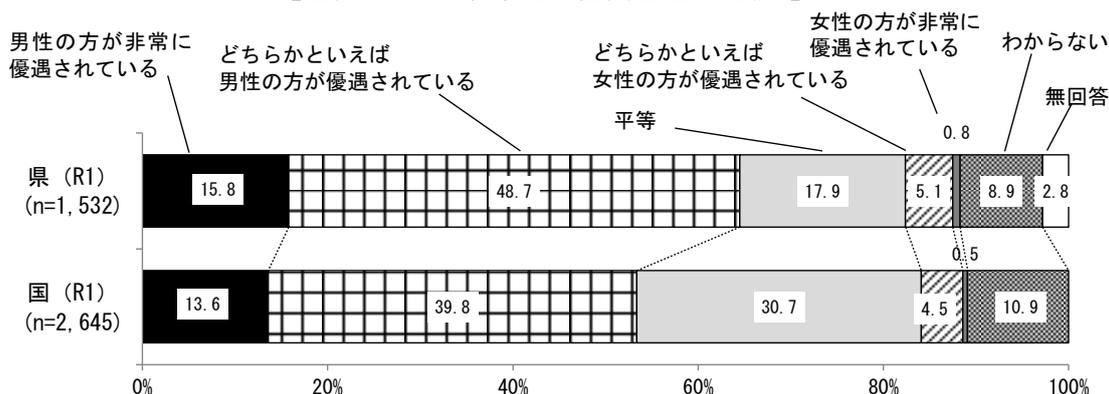
	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等	わからない	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	男性の方が優遇されている計	女性の方が優遇されている計
H12	25.5	49.4	10.8	6.5	3.6	0.7	74.9	4.3
H16	23.5	49.9	11.0	8.2	3.9	0.3	73.4	4.2
H21	19.1	46.0	13.0	8.2	4.4	0.8	65.0	5.2
H26	20.6	48.6	15.1	6.7	4.9	0.6	69.3	5.6
R1	15.8	48.7	17.9	8.9	5.1	0.8	64.5	5.9

※図表 5-4-3 は過去の調査と同様に、男性の方が優遇されている計、女性の方が優遇されている計は「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」、「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」の件数の合計を回答者の総数で割って集計している。そのため、「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」、「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」の割合の合計と一致しない場合がある。

<国調査との比較>

国調査と比べると、「平等」は県調査（17.9%）が国調査（30.7%）を12.8ポイント下回っている。

【図表 5-4-4 職場で（国調査との比較）】



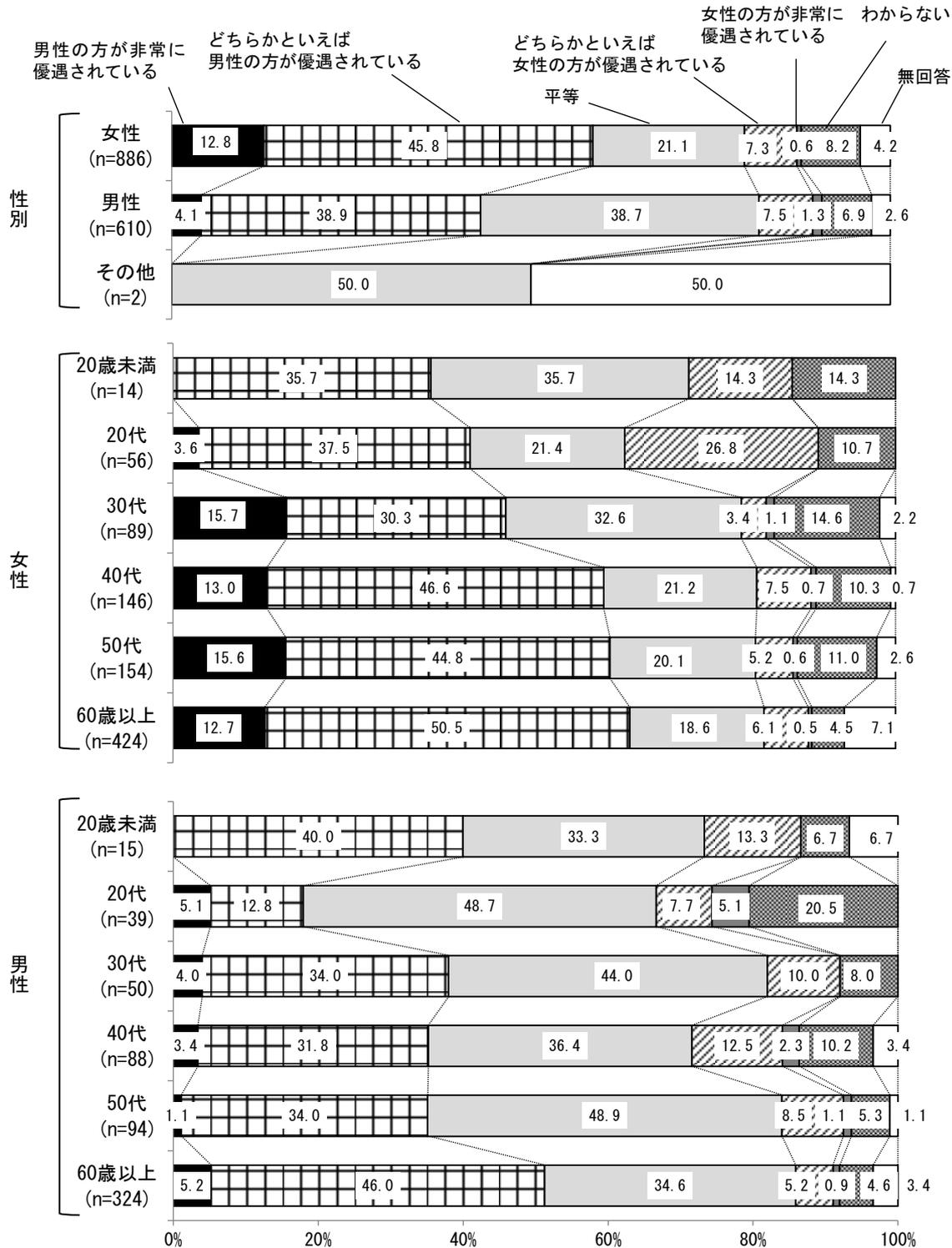
オ「家庭生活で」

<性別、性・年齢別>

性別にみると、『男性が優遇』は女性（58.6%）が男性（43.0%）を15.6ポイント、「平等」は男性（38.7%）が女性（21.1%）を17.6ポイント上回っている。

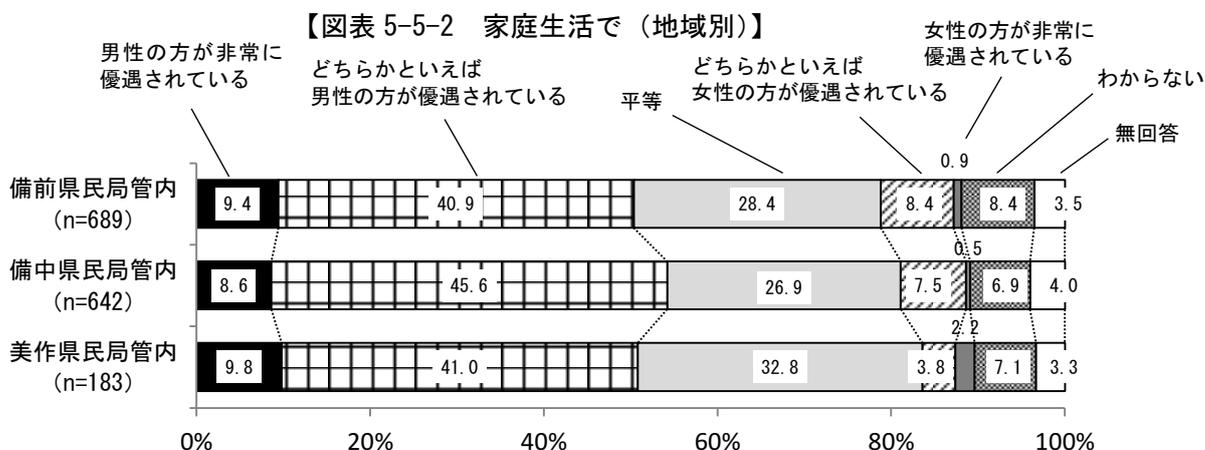
性・年齢別にみると、男性20代、30代、40代、50代は『男性が優遇』よりも「平等」が高くなっている。

【図表 5-5-1 家庭生活で（性別、性・年齢別）】



<地域別>

すべての地域で、『男性が優遇』は5割を超えている。また、「平等」は美作県民局管内(32.8%)が最も高く、備中県民局管内(26.9%)が最も低くなっており、5.9ポイントの差がある。



<過去の調査との比較>

過去の調査と比較すると、『男性が優遇』の割合はH12年調査からH21年調査にかけて低下傾向にあるが、それ以降はほぼ横ばいで、大きな変化はみられない。

【図表 5-5-3 家庭生活上で（過去の調査との比較）】

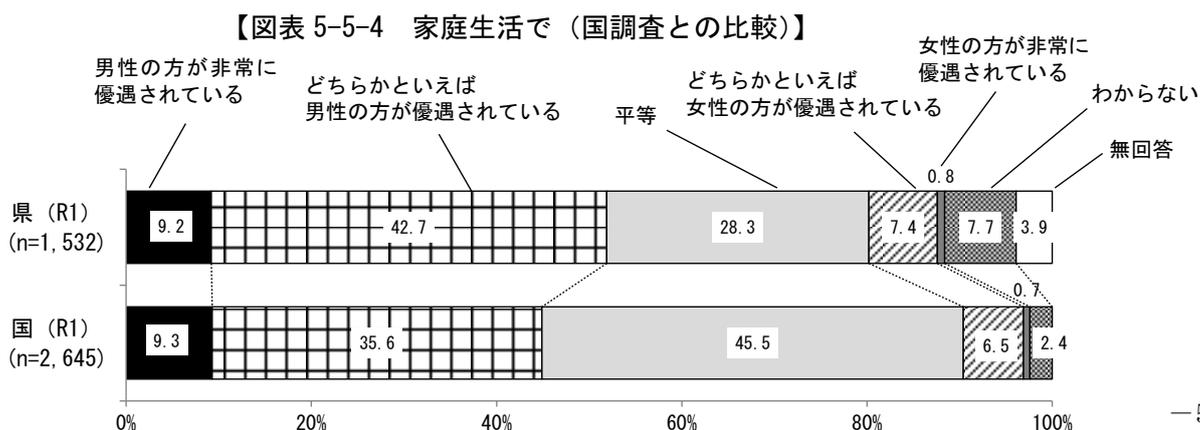
(単位: %)

	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等	わからない	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	男性の方が優遇されている計	女性の方が優遇されている計
H12	15.0	50.1	20.6	6.9	4.2	0.8	65.1	5.0
H16	11.0	49.5	25.2	5.5	5.7	0.9	60.5	6.6
H21	7.3	42.4	27.2	7.4	5.7	1.5	49.7	7.2
H26	7.9	45.9	25.5	8.6	7.8	0.9	53.8	8.7
R1	9.2	42.7	28.3	7.7	7.4	0.8	51.9	8.2

※図表 5-5-3 は過去の調査と同様に、男性の方が優遇されている計、女性の方が優遇されている計は「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」、「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」の件数の合計を回答者の総数で割って集計している。そのため、「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」、「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」の割合の合計と一致しない場合がある。

<国調査との比較>

国調査と比べると、「平等」は県調査(28.3%)が国調査(45.5%)を17.2ポイント下回っている。



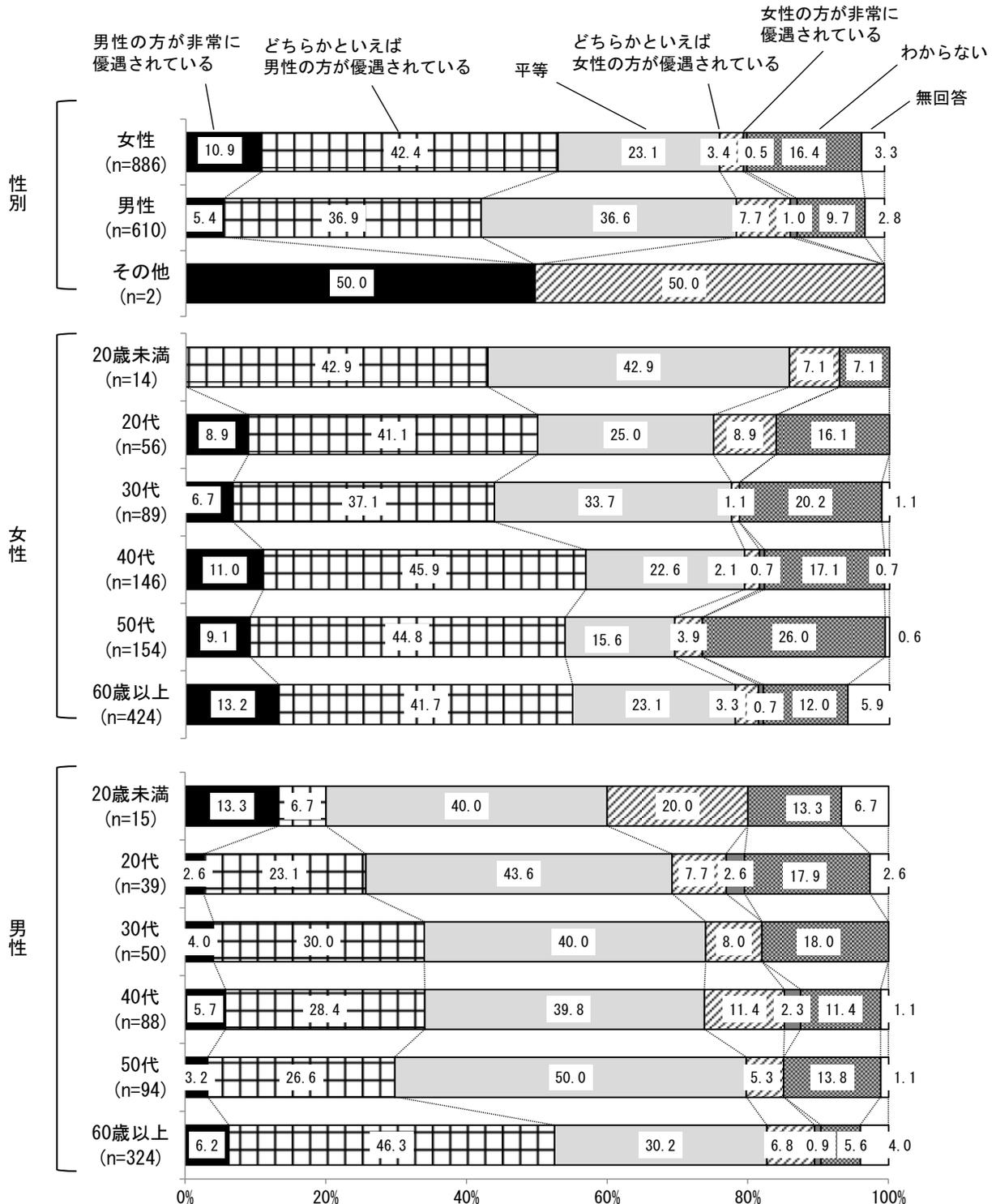
カ「地域社会で」

<性別、性・年齢別>

性別にみると、『男性が優遇』は女性（53.3%）が男性（42.3%）を11.0ポイント、「平等」は男性（36.6%）が女性（23.1%）を13.5ポイント上回っている。

性・年齢別にみると、女性はすべての年代において『男性が優遇』の割合が5割前後となっている。男性は60歳以上を除き、『男性が優遇』よりも「平等」が高くなっている。

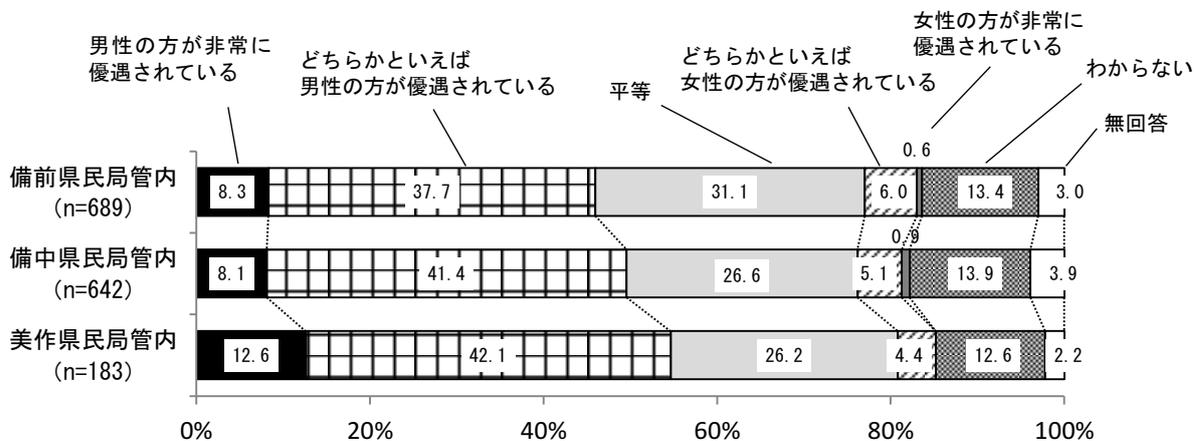
【図表 5-6-1 地域社会で（性別、性・年齢別）】



<地域別>

美作県民局管内は『男性が優遇』が 54.7%と他の地域と比べ、高くなっている。

【図表 5-6-2 地域社会で（地域別）】



<過去の調査との比較>

過去の調査と比較すると、『男性が優遇』の割合は H12 年調査から H21 年調査にかけて低下傾向にあり H26 では再び上昇したが、今回調査では 5 割を下回った。『女性が優遇』の割合はほぼ横ばいで、大きな変化はみられない。

【図表 5-6-3 地域社会で（過去の調査との比較）】

(単位: %)

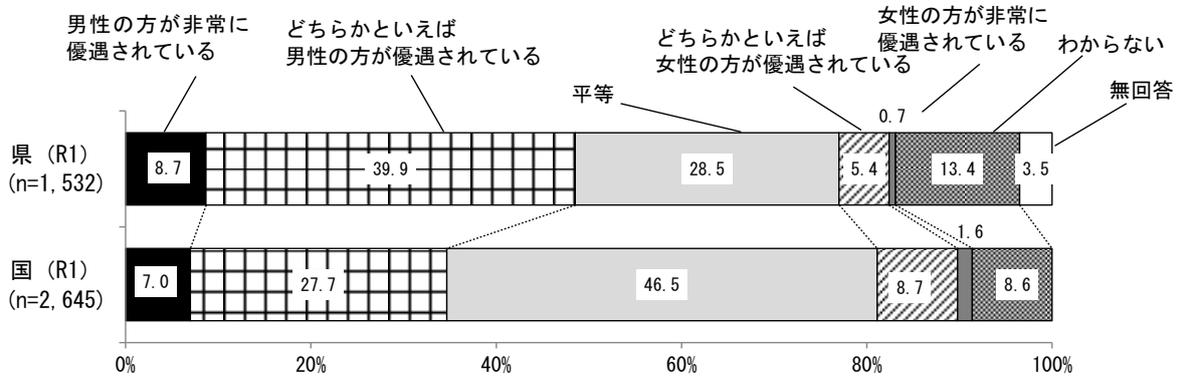
	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等	わからない	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	男性の方が優遇されている計	女性の方が優遇されている計
H12	13.4	45.0	22.2	10.7	3.8	0.4	58.4	4.2
H16	11.6	45.8	22.1	11.4	4.8	1.0	57.4	5.8
H21	8.2	39.5	24.0	13.8	4.7	0.7	47.7	5.4
H26	9.2	44.7	23.8	12.0	5.5	0.6	53.8	6.1
R1	8.7	39.9	28.5	13.4	5.4	0.7	48.6	6.1

※図表 5-6-3 は過去の調査と同様に、男性の方が優遇されている計、女性の方が優遇されている計は「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」、「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」の件数の合計を回答者の総数で割って集計している。そのため、「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」、「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」の割合の合計と一致しない場合がある。

<国調査との比較>

国調査と比べると、「平等」は県調査（28.5%）が国調査（46.5%）を18.0ポイント下回り、『男性が優遇』は県調査（48.6%）が国調査（34.7%）を13.9ポイント上回っている。

【図表 5-6-4 地域社会で（国調査との比較）】



※国調査は「自治会やNPOなどの地域活動の場」

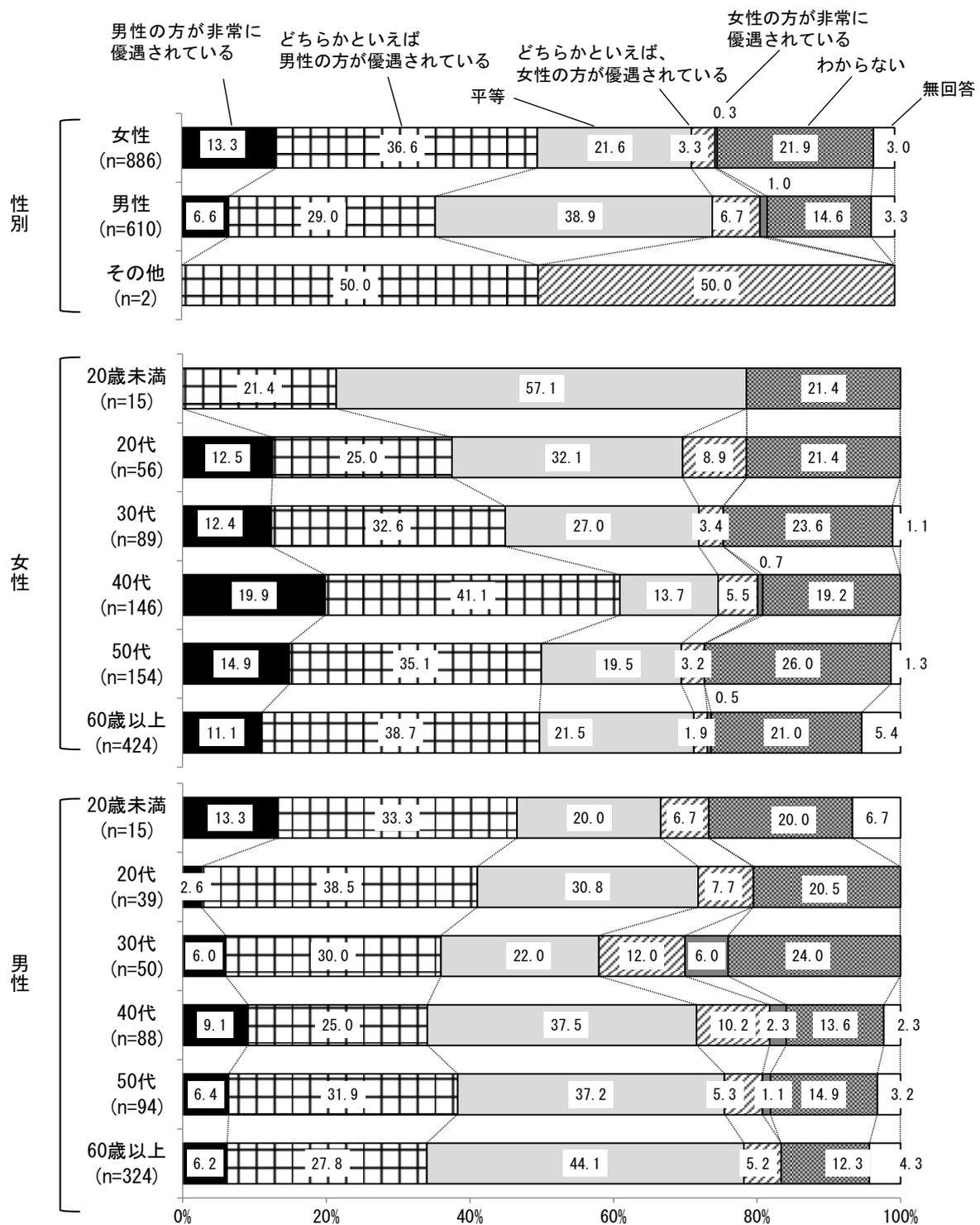
キ「法律や制度の上で」

<性別、性・年齢別>

性別にみると、「平等」は男性（38.9%）が女性（21.6%）を17.3ポイント上回っている。

性・年齢別にみると、女性は、40代をピークに年齢が上下するにつれて『男性が優遇』の割合が低くなる傾向がある。男性は40代、60歳以上で『男性が優遇』よりも「平等」が高くなっている。

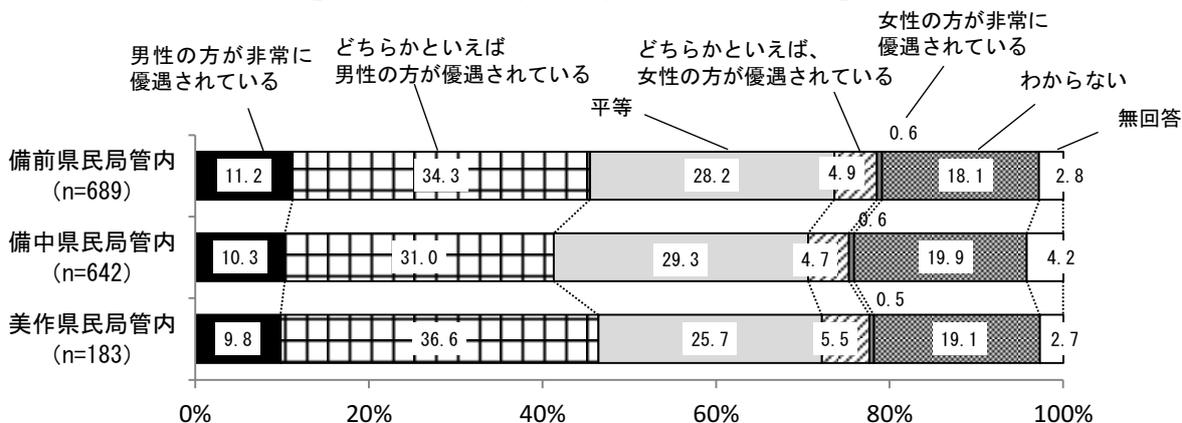
【図表 5-7-1 法律や制度の上で（性別、性・年齢別）】



<地域別>

すべての地域で、『男性が優遇』が4割程度となっており、大きな差はみられない。

【図表 5-7-2 法律や制度の上で（地域別）】



<過去の調査との比較>

過去の調査と比較すると、『男性が優遇』の割合はH21年調査から今回調査にかけて上昇傾向にある。『女性が優遇』の割合はほぼ横ばいで、大きな変化はみられない。

【図表 5-7-3 法律や制度の上で（過去の調査との比較）】

(単位: %)

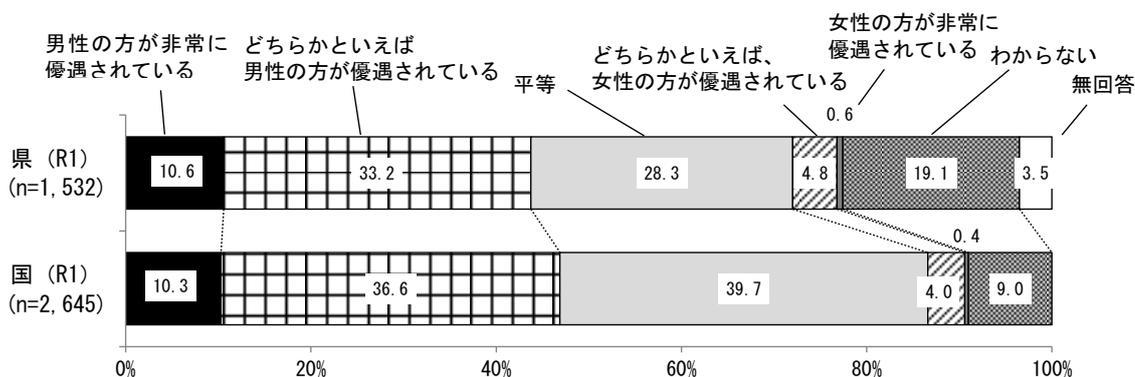
	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等	わからない	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	男性の方が優遇されている計	女性の方が優遇されている計
H12	12.4	33.7	31.7	12.6	4.2	0.8	46.1	5.0
H16	14.0	33.7	26.8	16.3	5.3	0.8	47.7	6.1
H21	7.8	29.7	30.9	15.6	5.7	0.7	37.5	6.4
H26	10.8	29.4	30.8	18.1	5.6	0.9	40.1	6.4
R1	10.6	33.2	28.3	19.1	4.8	0.6	43.8	5.4

※図表 5-7-3 は過去の調査と同様に、「男性の方が優遇されている計、女性の方が優遇されている計は「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」、「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」の件数の合計を回答者の総数で割って集計している。そのため、「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」、「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」の割合の合計と一致しない場合がある。

<国調査との比較>

国調査と比べると、「平等」は県調査（28.3%）が国調査（39.7%）を11.4ポイント下回っている。

【図表 5-7-4 法律や制度の上で（国調査との比較）】



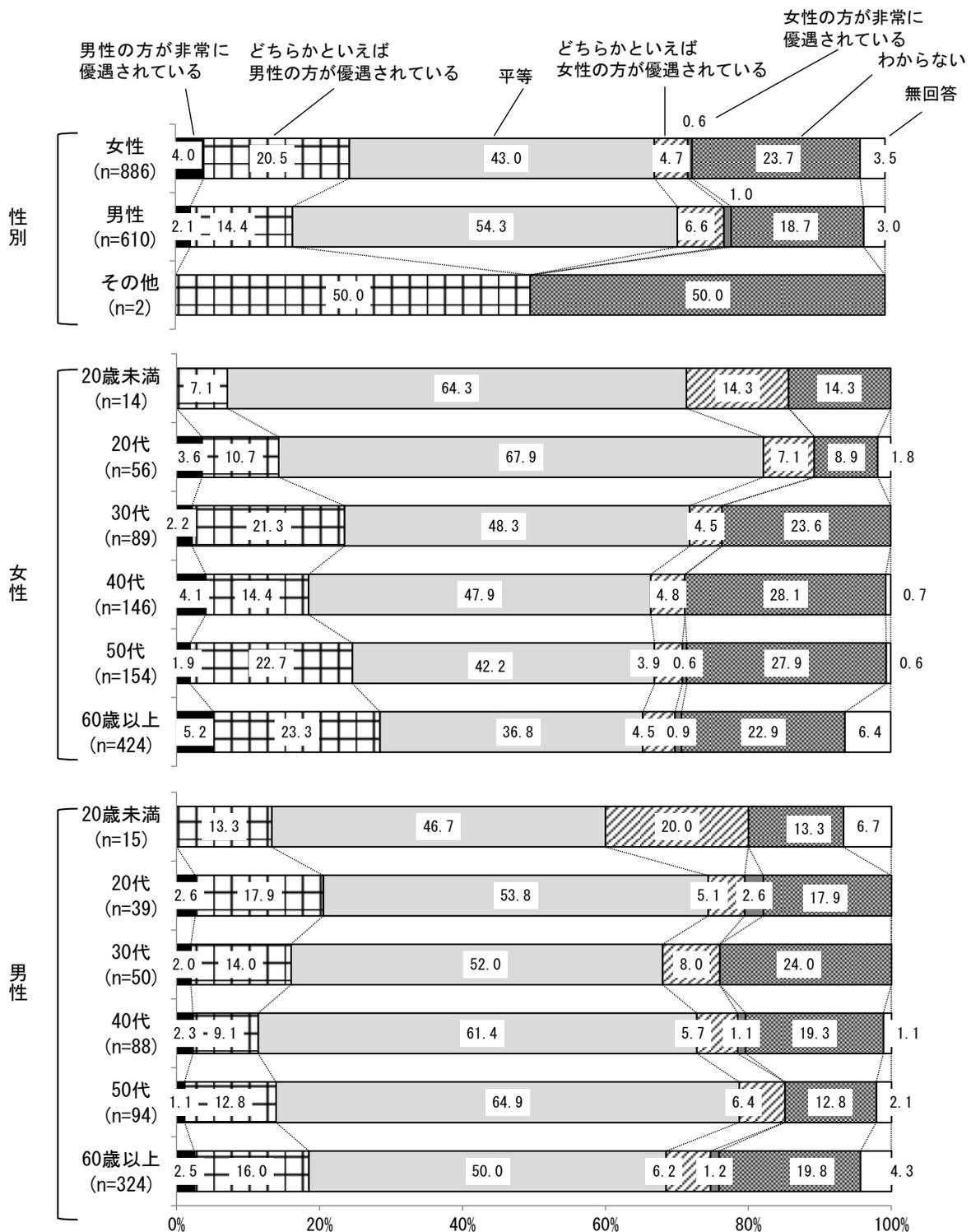
ク「学校教育の現場で」

<性別、性・年齢別>

性別にみると、「平等」は男性（54.3%）が女性（43.0%）を11.3ポイント上回っている。

性・年齢別にみると、女性は20歳未満を除き、年齢が上がるにつれて「平等」の割合が低くなっているが、男性は20歳未満を除き、5割を超えている。

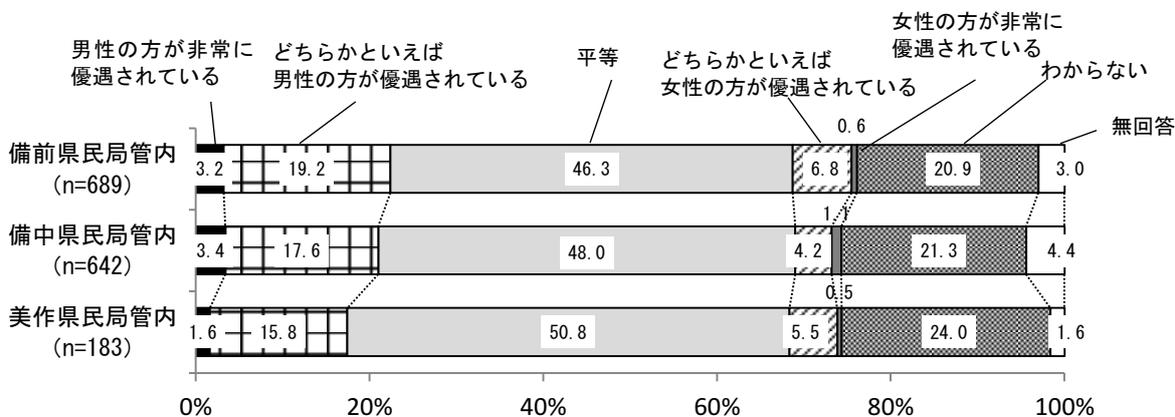
【図表 5-8-1 学校教育の現場で（性別、性・年齢別）】



<地域別>

すべての地域で、「平等」が5割前後となっており、大きな差はみられない。

【図表 5-8-2 学校教育の現場で（地域別）】



<過去の調査との比較>

過去の調査と比較すると、『男性が優遇』の割合はH12年調査からH21年調査にかけて低下傾向にあるが再び上昇している。『女性が優遇』の割合はほぼ横ばいで、大きな変化はみられない。

【図表 5-8-3 学校教育の現場で（過去の調査との比較）】

(単位: %)

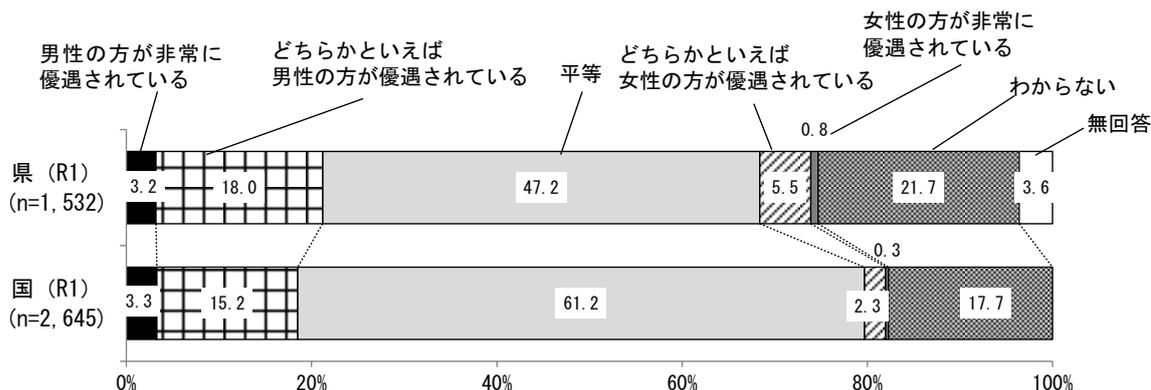
	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等	わからない	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	男性の方が優遇されている計	女性の方が優遇されている計
H12	3.5	21.5	48.8	14.5	6.2	1.1	25.0	7.3
H16	3.9	16.4	48.5	18.1	7.6	1.6	20.3	9.2
H21	2.4	12.9	48.1	19.7	6.0	1.0	15.3	7.0
H26	2.7	17.7	47.8	20.6	7.1	0.5	20.4	7.6
R1	3.2	18.0	47.2	21.7	5.5	0.8	21.2	6.3

※図表 5-8-3 は過去の調査と同様に、男性の方が優遇されている計、女性の方が優遇されている計は「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」、「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」の件数の合計を回答者の総数で割って集計している。そのため、「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」、「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」の割合の合計と一致しない場合がある。

<国調査との比較>

国調査と比べると、「平等」は県調査（47.2%）が国調査（61.2%）を14.0ポイント下回っている。

【図表 5-8-4 学校教育の現場で（国調査との比較）】

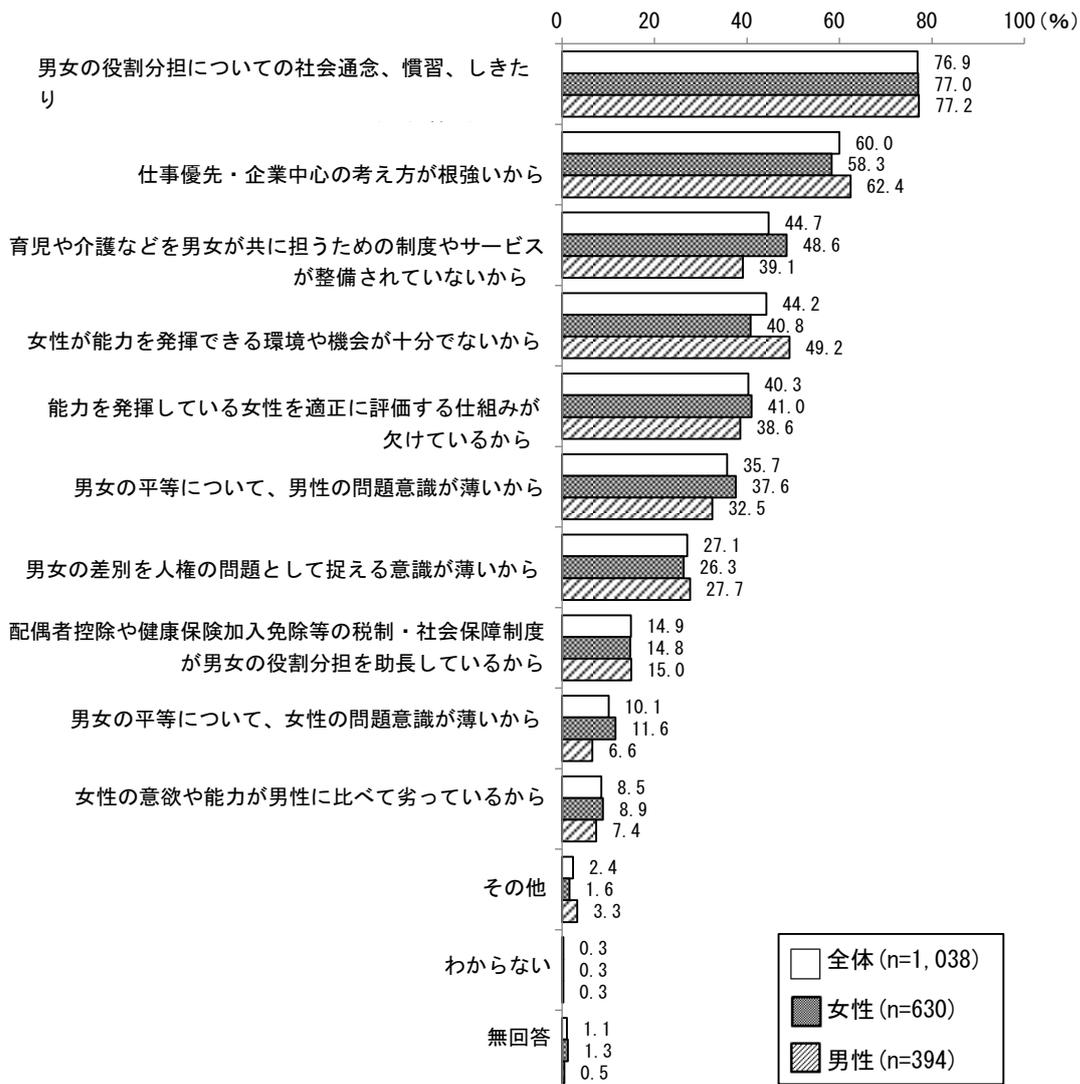


(2) 男性の方が優遇されていると思う原因

問5の「(h)社会全体でみた場合」で、「1. 男性の方が非常に優遇されている」または「2. どちらかと言えば男性の方が優遇されている」と答えた方のみお答えください。

問6 では、社会全体でみて男性の方が優遇されている原因は何だとお考えですか。次の中から、あてはまるものをすべてお答えください。【○印はいくつでも】

【図表 6-1 社会全体で男性の方が優遇されている原因】



◆「男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりなどが根強いから」、「仕事優先・企業中心の考え方が根強いから」などが上位に

社会全体で男性の方が優遇されていると思う原因について、「男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりなどが根強いから」が76.9%と最も高く、次いで「仕事優先・企業中心の考え方が根強いから」(60.0%)、「育児や介護などを男女が共に担うための制度やサービスが整備されていないから」(44.7%)、「女性が能力を発揮できる環境や機会が十分でないから」(44.2%)などの順となっている。

性別にみると、男女ともに「男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりなどが根強いから」が最も高くなっている。「女性が能力を発揮できる環境や機会が十分でないから」（女性：40.8%、男性：49.2%）は、男性が女性を大きく上回っている。反対に、「育児や介護などを男女が共に担うための制度やサービスが整備されていないから」（女性：48.6%、男性：39.1%）は、女性が男性を大きく上回っている。

＜性・年齢別＞

女性はすべての年代で「男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりなどが根強いから」が最も高くなっており、男性も20歳未満を除いたすべての年代で「男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりなどが根強いから」が最も高くなっている。次いで女性20代、男性20歳未満を除き「仕事優先・企業中心の考え方が根強いから」の順になっている。

【図表 6-2 社会全体で男性の方が優遇されている原因（性・年齢別）】

（単位：％）

		1位		2位		3位	
女性	20歳未満	男女の役割分担についての社会通念・慣習・しきたりなどが根強い	83.3	仕事優先・企業中心の考え方が根強いから	66.7	能力を発揮している女性を適性に評価する仕組みが欠けているから	33.3
	20代	男女の役割分担についての社会通念・慣習・しきたりなどが根強い	68.3	育児や介護などを男女が共に担うための制度やサービスが整備されていないから	46.3	仕事優先・企業中心の考え方が根強いから	43.9
	30代	男女の役割分担についての社会通念・慣習・しきたりなどが根強い	74.5	仕事優先・企業中心の考え方が根強いから	49.1	育児や介護などを男女が共に担うための制度やサービスが整備されていないから	43.6
	40代	男女の役割分担についての社会通念・慣習・しきたりなどが根強い	72.2	仕事優先・企業中心の考え方が根強いから	57.4	能力を発揮している女性を適性に評価する仕組みが欠けているから	52.2
	50代	男女の役割分担についての社会通念・慣習・しきたりなどが根強い	76.5	仕事優先・企業中心の考え方が根強いから	54.8	男女の平等について、男性の問題意識が薄いから	39.1
	60歳以上	男女の役割分担についての社会通念・慣習・しきたりなどが根強い	80.7	仕事優先・企業中心の考え方が根強いから	63.5	育児や介護などを男女が共に担うための制度やサービスが整備されていないから	54.7
男性	20歳未満	仕事優先・企業中心の考え方が根強いから	80.0	男女の役割分担についての社会通念・慣習・しきたりなどが根強い	60.0	能力を発揮している女性を適性に評価する仕組みが欠けているから 配偶者控除や健康保険加入免除等の税制・社会保障制度が男女の役割分担を助長しているから	40.0
	20代	男女の役割分担についての社会通念・慣習・しきたりなどが根強い	70.8	仕事優先・企業中心の考え方が根強いから	54.2	男女の平等について、男性の問題意識が薄いから	50.0
	30代	男女の役割分担についての社会通念・慣習・しきたりなどが根強い	74.2	仕事優先・企業中心の考え方が根強いから	61.3	女性が能力を発揮できる環境や機会が十分でないから	48.4
	40代	男女の役割分担についての社会通念・慣習・しきたりなどが根強い	78.4	仕事優先・企業中心の考え方が根強いから	70.6	女性が能力を発揮できる環境や機会が十分でないから	43.1
	50代	男女の役割分担についての社会通念・慣習・しきたりなどが根強い	64.9	仕事優先・企業中心の考え方が根強いから	63.2	女性が能力を発揮できる環境や機会が十分でないから	42.1
	60歳以上	男女の役割分担についての社会通念・慣習・しきたりなどが根強い	81.4	仕事優先・企業中心の考え方が根強いから	61.1	女性が能力を発揮できる環境や機会が十分でないから	54.9

<地域別>

すべての地域で、「男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりなどが根強いから」が7割を超え最も高く、次いで「仕事優先・企業中心の考え方が根強いから」の順となっている。

【図表 6-3 社会全体で男性の方が優遇されている原因（地域別）】

(単位: %)

	備前県民局管内		備中県民局管内		美作県民局管内	
1位	男女の役割分担についての社会通念・慣習・しきたりなどが根強い	76.2	男女の役割分担についての社会通念・慣習・しきたりなどが根強い	77.2	男女の役割分担についての社会通念・慣習・しきたりなどが根強い	77.9
2位	仕事優先・企業中心の考え方が根強いから	58.4	仕事優先・企業中心の考え方が根強いから	63.9	仕事優先・企業中心の考え方が根強いから	52.7
3位	育児や介護などを男女が共に担うための制度やサービスが整備され	44.4	育児や介護などを男女が共に担うための制度やサービスが整備され	46.6	女性が能力を発揮できる環境や機会が十分でないから	42.7

<過去の調査との比較>

過去の調査と比較すると、H16年調査から今回調査にかけて、「男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりなどが根強いから」が最も高く、次いで「仕事優先・企業中心の考え方が根強いから」の順となっている。

【図表 6-4 社会全体で男性の方が優遇されている原因（過去の調査との比較）】

(単位: %)

	R1年	H26年	H21年	H16年	
1位	男女の役割分担についての社会通念・慣習・しきたりなどが根強い	76.9	75.6	76.9	74.4
2位	仕事優先・企業中心の考え方が根強いから	60.0	59.4	62.9	56.5
3位	育児や介護などを男女が共に担うための制度やサービスが整備されていないから	44.7	47.3	47.1	44.2